



平成21年10月29日

各 位

会社名 株式会社 長野 銀行  
 代表者名 取締役頭取 田中 誠二  
 (コード番号 8521 東証第1部)  
 問合せ先 常務取締役総合企画部長  
 中 條 功  
 (TEL . 0263 - 27 - 3311)

平成22年3月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年8月28日に公表いたしました、平成22年3月期第2四半期累計期間(平成21年4月1日~平成21年9月30日)の業績予想について、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1 平成22年3月期第2四半期累計期間(平成21年4月1日~平成21年9月30日)

(1) 単体業績予想の修正

(単位:百万円)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	9,950	3,400	2,900
今回修正予想 (B)	9,920	5,040	3,940
増減額 (B - A)	30	1,640	1,040
増減率	0.3%	- %	- %
(ご参考)平成20年9月期	10,673	586	371

(2) 連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	13,100	3,400	2,950
今回修正予想 (B)	13,100	5,100	4,000
増減額 (B - A)	0	1,700	1,050
増減率	0.0%	- %	- %
(ご参考)平成20年9月期	14,349	612	399

2 修正の理由

(1) 業績予想(単体)の修正理由

経常収益は、前回予想から大きな変動はない見込みですが、経常費用は、県内中小企業の業績悪化、倒産等を背景とした与信関係費用の増加を主因として、前回予想より16億10百万円程度増加する見込みです。これにより、経常利益は、前回予想より16億40百万円下回る50億40百万円程度、中間純利益は、前回予想より10億40百万円下回る39億40百万円程度となる見込みであります。

今後は、一層の営業活動の強化、業務の効率化、経費の節減に取り組み、収益力を強化してまいります。

(2) 業績予想(連結)の修正理由

主に単体の業績予想の修正によるものであります。

なお、平成22年3月期通期の業績予想につきましては、11月に予定しております中間決算発表時にお知らせいたします。

以 上

<ご参考資料>

平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績の概要（単体）

（単位：百万円）

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B) - (A)	(参考) 前年同期実績
経常収益	9,950	9,920	30	10,673
業務粗利益	7,800	7,770	30	7,758
資金利益	7,050	7,010	40	7,328
役務取引等利益	150	120	30	256
その他業務利益	600	640	40	174
経費（除く臨時費用分）	5,700	5,640	60	5,780
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	2,100	2,130	30	1,978
コア業務純益（除く国債等関係損益）	1,500	1,500	0	1,816
一般貸倒引当金繰入額	650	1,000	350	466
業務純益	1,450	1,130	320	2,445
うち国債等関係損益(5 勘定戻)	600	630	30	161
臨時損益	4,850	6,170	1,320	1,858
うち不良債権処理額	4,450	5,400	950	1,844
うち株式等損益(3 勘定戻)	150	500	350	104
経常利益	3,400	5,040	1,640	586
特別損益	0	50	50	2
中間純利益	2,900	3,940	1,040	371
与信関係費用 +	5,100	6,400	1,300	1,378

- 1 コア業務純益については、資金利益及び役務取引等利益は前回予想時点より下回る見込みですが、経費の節減などにより、前回予想時点と同じ 15 億円程度となる見込みです。
- 2 与信関係費用については、県内中小企業の業績悪化、倒産等により個別貸倒引当金純繰入額が前回予想時点より 10 億円程度増加する見込みであること、また、これに伴い正常先、要注意先の貸倒実績率が上昇する見込みであり、一般貸倒引当金繰入額が前回予想時点より 3 億 50 百万円程度増加する見込みであることから、前回予想時点より 13 億円程度増加する見込みです。
- 3 株式等損益については、一部銘柄について著しい時価の下落があったため、株式等償却 4 億 98 百万円を計上する見込みです。
- 4 この結果、経常利益は、前回発表予想を 16 億 40 百万円下回る 50 億 40 百万円程度、また、中間純利益は、前回発表予想を 10 億 40 百万円下回る 39 億 40 百万円程度となる見込みです。
- 5 その他有価証券の評価差額は、平成 21 年 3 月末より 43 億円改善して 19 億円程度となる見込みです。
- 6 自己資本比率（国内基準）は、現在算出中ですが、単体ベースで 8.0%程度、連結ベースで 8.4%程度となる見込みです。

上記の業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる可能性があります。

以上